

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 薬物血中濃度測定法の違いによる測定値の乖離とその要因に関する検討

研究の目的

本研究では、日立ハイテクサイエンスの HPLC-UV システム（LM1010 高速液体クロマトグラフ）の薬物血中濃度測定精度を検証します。

研究実施期間： 2023年6月6日 ~ 2026年3月31日
（倫理委員会承認日）

対象となる方： 2022年1月1日～2025年12月31日までの間、弘前大学医学部附属病院で、フルコナゾール、リネゾリド、ダブトマイシン、アミオダロン、クロザピン、フェノバルビタール、**バンコマイシン**、**カルバマゼピン**、または**フェニトイン**が投与され、血中濃度が測定された患者。

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院のカルテに記録されている情報のうち、上記薬物の血中濃度、年齢、性別、身長、体重、臨床検査値（WBC、RBC、Hb、ALT、AST、S-CRE、T-Bil、Alb、CRP）および併用薬物について、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、当院において、LM1010 高速液体クロマトグラフで測定した各薬物の血中濃度と、既存の定量分析機器で測定した各薬物の血中濃度を比較し、両者の値の違いおよびそれらの差が生じた原因について、日立ハイテクサイエンスと情報を共有します。

本研究では、日常診療で実施された血液検査における残りの血液を使用します。すなわち、本研究のためだけに採血が行われることはございません。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

弘前大学医学部附属病院 薬剤部・新岡 文典

連絡先：電話 0172-39-5301/e-mail t-niioka@hirosaki-u.ac.jp

